

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
ソーシャルワーク演習 (専門) b		選択	2	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
石原 真里奈	講師控室	kyoumu	授業終了後に質問受付		
授業の目的・概要	<p><目的> 支援を必要とする人が抱える複合的・重層的な課題に対する総合的・包括的な支援について、ソーシャルワーカーに求められる専門的援助技術を実践的に習得することを目的とする。</p> <p><概要> 教科書の事例を用いて、社会的孤立、累犯障害者、メンタルヘルス課題、子どもや家族の危機的状況に求められるソーシャルワーク実践の方法や視座等について、グループワークやディスカッションにより理解を深め、成果を発表し、習得した内容を可視化・言語化できるよう授業を進める。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	社会福祉士の倫理綱領や行動規範、ソーシャルワーク専門職のグローバル定義、基本的な理論やアプローチ等といったソーシャルワークの基盤となる事項について復習し、理解を深めておくこと。				
教科書	最新 社会福祉士養成講座 7 ソーシャルワーク演習 [社会専門] /編:日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版				
参考書	特になし				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	ソーシャルワーク実践に必要な知識と技術の統合を行い、体系化する能力を習得する。		HSU(2)、(4)、HC(2)、(3)、(5)、(6)		
②	複合的・重層的な課題に対する総合的・包括的な支援を実践的に理解し、説明できる。		HSU(1)~(4)HC(1)~(4)、(6)		
③	地域の特性や課題を把握し解決するための過程を理解し、説明できる。		HSU(2)、(4)、(5)、HC(2)、(3)、(5)		
④	マイクロ・メゾ・マクロレベルのソーシャルワークを実践的に理解し、説明できる。		HSU(3)、(4)、(6)、HC(1)~(4)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	[オリエンテーション] 授業内容と進め方、学習方法、評価方法等を理解する。	演習	シラバスを精読する。		4
2	[社会的孤立への気づきと支援①] 高齢分野の事例を分析する。	演習	教科書の該当章を精読する。		4
3	[社会的孤立への気づきと支援②] 障害・若者支援の事例を分析する。	演習	教科書の該当章を精読する。		4
4	社会的孤立への気づきと支援③ 産業分野での事例を分析する。	演習	教科書の該当章を精読する。		4
5	[クライアントへの支援①] 生活を踏まえた本人のニーズを把握する。	演習	教科書の該当章を精読する。		4
6	[クライアントへの支援②] 連携する意義と支援体制の構築について理解する。	演習	教科書の該当章を精読する。		4
7	[クライアントへの支援③] 本人自身が考え決めていくプロセスの支援を検討する。	演習	教科書の該当章を精読する。		4
8	[メンタルヘルス課題と社会福祉士の役割・機能①] クライアントの危機的な状況への介入方法を検討する。	演習	教科書の該当章を精読する。		4
9	[メンタルヘルス課題と社会福祉士の役割・機能②] ストレスに着目した支援方法を理解する。	演習	教科書の該当章を精読する。		4
10	[メンタルヘルス課題と社会福祉士の役割・機能③] 新たな社会資源の開発に向けて検討する。	演習	教科書の該当章を精読する。		4
11	[メンタルヘルス課題と社会福祉士の役割・機能④] 地域福祉計画の策定に参画する意義と方法を理解する。	演習	教科書の該当章を精読する。		4
12	[子どもや家族が発する SOS への気づきと支援①] 子どもと家族の状況をアセスメントし、介入方法を検討する。	演習	教科書の該当章を精読する。		4
13	[子どもや家族が発する SOS への気づきと支援②] 多職種間の情報共有とケース検討の方法を理解する。	演習	教科書の該当章を精読する。		4
14	[子どもや家族が発する SOS への気づきと支援③] 長期的支援に向けたアプローチを理解する。	演習	教科書の該当章を精読する。		4
15	[まとめ] これまでの演習の総括を行う。	演習	教科書の該当章を精読する。		4
試	レポート試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

		達成度評価					
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	0	50	0	50	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	10	0	0	10
	思考・推論・創造する力	0	0	10	0	10	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	10	0	10	20
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	20
	コミュニケーション力	0	0	10	0	10	20
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	グループワークで取り組んだ成果を発表する。グループでどのように取り組んだか、効果的な発表ができているかを評価する。	成果発表は学生による評価と教員の評価を勘案して評価する。			
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	課題への取り組み状況やグループワークへの参加姿勢などを確認し、評価する。	質問については、授業にて共有する。			
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	社会福祉士資格取得後 14 年の実践経験を有する。						
実践的授業の内容	実践的な事例を用いて学生が科目内容について具体的なイメージをもって理解が深まるように工夫して授業を進める。						
そ の 他	<p>【履修についての条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ソーシャルワーク演習」を履修し、単位を取得していること。 社会福祉士国家試験受験希望者は必ず履修すること。 毎回の授業で PC を使用するため必ず持参すること。 <p>【受講する際の注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。 生成 AI の使用については、課題に応じて随時教員より使用/不使用の指示をする。 						